

国民健康保険の現状

日本に住んでいる方は、安心して治療を受けられるよう、何らかの医療保険に加入していなければなりません。職場の健康保険（健康保険組合・共済組合・船員保険など）に加入している方、生活保護を受けている方以外は、すべての方が国民健康保険（国保）に加入するよう法律で定められています。

国保の運営

国保は、県と市町村で、広域で支え合う制度です。国保の財源は加入者（被保険者）が納める保険税や国・県からの支出金のほか、市からの繰入金などによって賄われています。国保のサービス・制度は基本的に全国一律ですが、保険税は、住んでいる地域によって異なります。

本市の国保財政は赤字のため、毎年、一般会計から赤字を補てんするための繰り入れを行っている状況です。そのため、今後、加入者の急激な負担増とならないように配慮しつつ、保険税の見直しも必要となります。

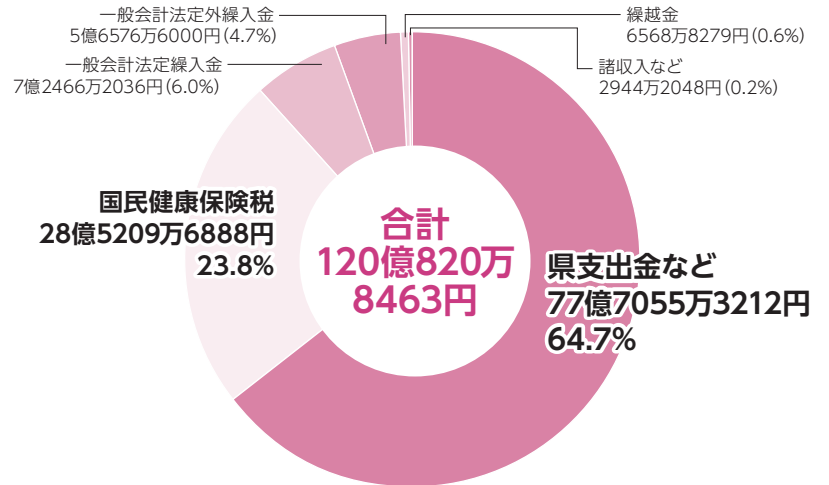
● 国保の医療費の推移

国保の医療費は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言などによる受診控えがあったため、令和2年度は減少しましたが、3年度はその反動で大幅に増加しました。また、一人当たりの医療費も、医療の高度化や高齢化の進行により年々増加しています。市では、医療費が過大にならないように、後発医薬品の使用促進、適正服薬の推進、特定健診・特定保健指導の受診勧奨などを進め、医療費全体の適正化を図っています。

過去5年間の年度ごとの国保の医療費		過去5年間の年度ごとの一人当たりの医療費	
令和3年度	75億8292万円	令和3年度	28万8247円
令和2年度	71億2334万円	令和2年度	26万4062円
令和元年度	73億5139万円	令和元年度	26万5806円
平成30年度	72億6505万円	平成30年度	25万1656円
平成29年度	76億3395万円	平成29年度	25万 853円

※医療費には、移送費、出産育児一時金、葬祭費、傷病手当金、審査支払手数料は含まれていません

● 令和3年度国保歳入決算の内訳



浦安市の令和4年度国民健康保険税率・税額

保険税は医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分があり、おのおの所得割、均等割（医療給付費分のみ平等割が加算）ごとに計算した額の合計が1年間（4月～翌年3月）の保険税額です。

	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分
所得割税率	6.66%	2.13%	1.45%
均等割額 (1人につき)	1万7400円	1万2000円	1万3200円
平等割額 (1世帯につき)	2万4400円	なし	なし
賦課限度額	65万円	20万円	17万円

※所得割額は課税対象所得額（加入者の前年中の総所得金額等－基礎控除43万円）に所得割税率を掛けて計算します

【問】 国保年金課 ☎712・6829

ID 1001305

旧江戸川富士見地区の護岸が全面開放されました

県が平成15年度から実施していた旧江戸川富士見地区の護岸の耐震・高潮対策工事が一部区間で終了したことに伴い、令和3年10月に堀江橋から富士見二丁目までの約1kmの区間の緩傾斜護岸が開放されています。12月1

日に富士見二丁目から堀江ドックまでの約400mの区間が開放され、合計約1.4kmの区間が全面開放されました。

この機会に、ぜひ、散策してみたいはいかがでしょうか。

【問】 道路整備課 ☎712・6577



ID 1038108

11月19日 チャリフェスinしんうらやす2022

自転車事故を防ぐため、誰もが気軽に使用できる自転車が「車両」であることを意識し、交通ルールやマナーなどについて楽しく学んでもらうことを目的に開催された「チャリフェスinしんうらやす2022」。交通ルールについて学べるゲームコーナーなどのブースのほか、さまざまな団体による啓発ステージやBMXパフォーマンスショー、ミニランニングバイク試乗体験会などが行われ、交通ルールやマナーの確認だけでなく、自転車に乗ることの楽しさも感じる事ができたイベントとなりました。



11月20日 「浦安アートプロジェクト」ワークショップ「ポンプ場」から浦安の未来を創造してみよう

浦安市と東京藝術大学が連携して進めているこのプロジェクト。今回のワークショップでは、市内にある「ポンプ場」に着目しました。市の職員がポンプ場について説明をしたのち、日比野学長によるワークショップを実施。そのあと、近くのポンプ場へ移動し、水をテーマにした絵をチョークで描き、ポンプ場を新しい姿に変身させました。参加した皆さんは、思い思いにポンプ場に新たな価値を吹き込んでいました。今後のプロジェクトの進展にも期待が高まります。

